

脳ドック

厚生労働省が発表した「人口動態統計の概要」によると、平成 27 年の 1 年間での死因別死亡総数のうち、脳血管疾患は 11 万 1,973 人で全体の 8.7%を占め、全死因の上位から 4 番目という結果となっています。このうち脳梗塞が 64,523 人であり、脳血管疾患で死亡したうちの 57.6%の方が脳梗塞で亡くなっています。その他では、脳内出血が 32,113 人で 28.7%、くも膜下出血が 12,476 人で 11.1%の方が亡くなっています。

これらの疾患を発症すると、言語障害や麻痺などの重い後遺症を残したり、場合によっては一瞬にして生命を奪ったりすることもあります。そこで、自覚症状のない無症状性脳梗塞や未破裂動脈瘤などの脳の病気を発見する検査が脳ドックです。

検査方法

MRI 装置で頭部 MRI・MRA と頸部 MRA の撮影をします。検査時間は 20 分程度です

- MRI とは

磁気と電磁波によって、あらゆる方向から脳の断面画像を撮影する検査です。発症間もない脳梗塞の病変や小さな梗塞なども映し出すことができます。

- MRA とは

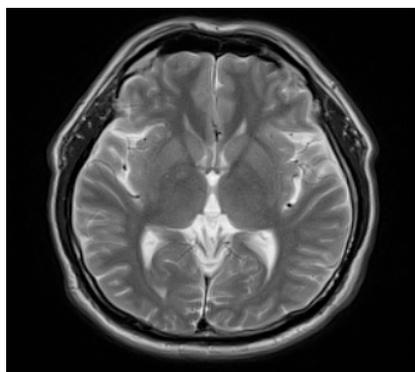
MRI と同様の原理で撮影し、血管を立体画像として映し出す検査です。動脈瘤や動脈硬化による動脈狭窄を発見することができます。



MRI 装置

注意事項

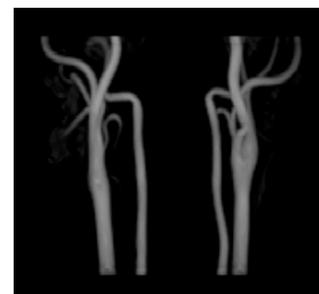
- ▶ 磁気や電磁波を使用する検査の為、ペースメーカーや人工内耳を使用中の方は、検査を受けることができません。
- ▶ 検査室内には、時計や磁気カード、携帯電話などの電子機器等の金属類は持ち込めません。
- ▶ 手術により体内に金属が入っている方や閉所恐怖症の方、体に刺青やタトゥー、アートメイクをしている方は検査を受けられない可能性があります。



頭部 MRI



頭部 MRA



頸部 MRA